

3年生 必修教科「技術」授業のシラバス

教科名	技術・家庭	科目名	技術分野	単位数	17	時間
科目の目標	(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、施術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深める。 (2) 生活や社会の中から技術に係る問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、施策等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3) より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。					
教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）		副教材			

1 学習の目標

情報の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、生活や社会・環境との関わりについて理解を深めるとともに生活や社会の中からこれらの技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決する力、より良い生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実にこれらの技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

2 学習の方法

- (1) 予習について
 - 特にありません。
- (2) 授業について
 - コンピュータを活用した実習を行います。
- (3) 復習について
 - 1回生の時に学習した情報の技術について確認しましょう。

<学習アドバイス> ○レポート提出を行います。 ○総合の授業との関わりになかなか制作されたデジタル作品なども評価の対象となります。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	ものづくりやエネルギー利用及び生物育成等に関する技術について基礎的な理解を図るとともに、関わる技能を身に付け、技術と生活・環境との関わりについて理解を深める。
②思考・判断・表現	生活と技術に関わる課題を見だし、解決策を構想し、実勢による具体化、評価改善を通して、課題を解決する力を養う。
③主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、工夫・創造しようとする態度を養う。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期 考査	単元 テス ト	小 テス ト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ハ ート	ワーク シート	討議				
①知識・技能					○					○					
②思考・判断・表現					◎	○	◎								
③主体的に学習に取り組む態度					◎	○	◎			○	○				

<担当者からのメッセージ> ○日常の生活を発展させた、ネットワーク技術や情報の役割について考えましょう。 ○情報を正しく探究活動に生かすための方法を学び、活用できるようにしましょう。 ○マイクロソフトオフィスのワード、エクセル、パワーポイントの発展的な操作ができるようになります。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊 重の心	強くし なやか な心身	日本人 としての誇り	多様性 の尊重
関心 ・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換 ・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心をもち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析し、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されことなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
1 1	<p>【実習】</p> <p>6 デジタル作品の設計と制作</p> <p>デジタル作品の構想（1） 情報の収集と加工（2） 作品の制作（2） 作品発表（1）</p> <p>【座学】（3）</p> <p>5 情報モラルと知的財産</p>	<p>実技課題① 「ワードプロセッサソフトの応用機能を使おう」 ①文字加工（色、大きさ等） ②オートシェイプ機能 ③画像挿入 など</p> <p>実技課題② 「大学訪問記録を作成しよう」 ①ワードの発展的な操作方法 ②デジタルカメラ、スキャナー等のデータの使用方法 ③インターネット上の情報の扱い方</p> <p>1 利用するときのモラル 2 発信するときのモラル 3 人権や個人情報の保護 4 知的財産の保護</p>	<p>③課題に対し、効果的な処理方法を的確に選択し構想を立てようとしている。 ③全体的な内容を閲覧者の立場から総合的に判断し、工夫している。 ①素材を編集する方法を工夫し、効果的な方法を考えている。 ②③ソフトウェアのさまざまな機能を組み合わせて画面の配色や特殊効果の設定など、効果的な処理をしている。 ①機材のさまざまな操作ができ、目的に応じた素材の編集をしている。 ①マルチメディアを表現し、発信するための手順について理解している。</p> <p>①②作品に適したメディアの種類やデジタル化の方法、複合の方法を決定することができる。 ①②設計に基づき、適切なソフトウェアを用いて、多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。 ①ネットワークの基本構成、インターネットの構成、webページのしくみがわかる。 ①著作権など情報発信者としての責任についての知識を身につけている。</p>	<p>課題提出</p> <p>実技テスト 文書デザイン検定 3級程度</p>	<p>ABCD F</p> <p>ABCD</p>
	<p>6 デジタル作品の設計と製作</p> <p>作品の構想（2） 素材集めと加工（2） 作品の制作（2） 見直しを発表準備（1） 発表・相互評価（1）</p>	<p>実技課題③ 「SDGs探究課題のプレゼンテーション資料を作成しよう」 ①パワーポイントの効果的な使用方法 ②インターネット上の情報の扱い方 ③パワーポイントの応用機能でわかりやすい資料を作成</p> <p>*作品は相互評価を行なう</p>	<p>①機材のさまざまな操作ができ、目的に応じた素材の編集をしている。 ③課題に対し、効果的な処理方法を的確に選択し構想を立てようとしている。 ③全体的な内容を閲覧者の立場から総合的に判断し、工夫している。 ①素材を編集する方法を工夫し、効果的な方法を考えている。 ②③ソフトウェアのさまざまな機能を組み合わせて画面の配色や特殊効果の設定など、効果的な処理をしている。 ①機材のさまざまな操作ができ、目的に応じた素材の編集をしている。 ①マルチメディアを表現し、発信するための手順について理解している。</p>	<p>課題提出</p>	<p>ABCD F H K L M</p>